

# 平成 28 年度事業報告書

公益財団法人ふるさといわて定住財団

平成 28 年度は、国内、県内とも景気は緩やかな回復基調が続いたが、金融情勢は、平成 28 年 2 月 16 日からの日銀によるマイナス金利政策により債券の利回りがさらに低下した。

本県の雇用情勢は、有効求人倍率が依然高い水準を維持した。

平成 29 年 3 月新規大学卒業予定者の就活日程は、経団連の就活ルールの見直しにより企業の採用選考の時期は前年度より 2 か月早まり、卒業(修了)年度の 6 月 1 日以降となった。平成 29 年 3 月卒の大学生の就職内定率は 95.7%と 4 年連続で 95%を超えた(29 年 4 月 28 日岩手労働局発表)。

当財団では、企業、行政・教育機関等と連携を図りながら、若年者の県内定着に向け、就職面接会、U・I ターンフェアの開催や就職支援情報の提供など効果的な事業実施に取り組んだ。

法人運営では、経常収益の大半を債券の運用収入に依存する当財団では前年度までに償還を完了したため金利低下の直接的な影響はなかったが、運用状況を定期的に把握するなどリスク管理の徹底に努めた。

## 《公益目的事業》

### 1 若年就職希望者の県内定着の促進

#### (1) 学生と県内企業との出会いの場づくり

平成 29 年 3 月新規大卒者等を対象に、いわて就職ガイダンスを 4 月 9 日に開催したが、参加者数は前年度の 1 回目を下回った。これは、就活日程(選考活動)が前年より 2 か月早まったため(8 月から 6 月)、経団連非加盟の企業を中心に正式な解禁前から内定が早く進み、学生の参加が減少したためと考えられる。

#### ▽今年度の開催状況

( )内は前年度の実績

回	事業名	期日・場所	参加企業	参加者
1	いわて就職ガイダンス (注 1)	平成 28 年 4 月 9 日(土) アピオ(滝沢市)	153 (前年度 1 回目 131、2 回目 150)	634 (前年度 1 回目 800、2 回目 310)
2	首都圏・いわて就職ガイ ダンス(第 2 回 U・I タ ーンフェアに併設)	平成 29 年 3 月 20 日(月・祝) 秋葉原 UDX ギ ャラリー(東京)	66 (55)	137(注 2) (111)

注1) 平成 27 年度は、就職ガイダンスを 2 回開催。

注2) ブース訪問 73 人、企業プレゼンテーション参加者 42 人、適性診断 22 人。

## (2) 就職活動への支援

いわて就職面接会を4回開催したが(前年度は3回)、1回目(6月)の参加者数は前年度より増加した。これは選考活動が前年度の8月より2ヶ月早い6月からとなり、前年度1回目の8月時点より内々定が少なかったためと考えられる。2回目(7月)以降は、内定の増加に伴い、最終的には前年並みの参加者数に近づいた。

### ▽今年度の開催状況(いわて就職面接会Ⅲまで)

( )内は前年度の実績

回	事業名	期日・場所	参加企業数	参加者数
1	いわて就職面接会Ⅰ	平成28年6月4日(土) アピオ(滝沢市)	158 (149)	283 (193)
2	いわて就職面接会Ⅱ	平成28年7月20日(水) アピオ(滝沢市)	151 (126)	210 (212)
3	首都圏・いわて就職面接会 (第1回U・Iターンフェアに併設)	平成28年9月11日(日) 秋葉原UDXギャラリー (東京)	52 (58)	120 (76)
4	いわて就職面接会Ⅲ	平成28年10月7日(金) アピオ(滝沢市)	132 (106)	186 (200)
5	いわて就職面接会Ⅳ	平成28年12月8日(木) アピオ(滝沢市)	107 (-) ※	163 (-) ※

(注) 平成27年度は、いわて就職面接会を3回開催。

(参考) 28年度の主な改善点

- ①会場ロビーで参加者に企業から声かけを容認(面接会Ⅱ～)
- ②就活対策講座の実施(12月の面接会Ⅳ：22人参加)(ジョブカフェいわての協力)

## (3) 就職支援情報の提供

### ア 就職支援システムによる提供

登録企業数、ウェブサイトのアクセス数が前年度より増加した。これは、平成27年11月からのリニューアル効果(参考資料の図1)が続いていると考えられる。

◇登録企業数(3月末現在) 792社(750社)

◇4~3月新規登録企業数 109社(76社)

◇4~3月ウェブサイト閲覧数

・訪問件数 月平均 7,969件(前年度 7,360件)

・アクセス件数 月平均 402,115件(前年度 296,933件)

### イ 就職応援紙「Defi」の発行

10月と1月の2回発行し、県内及び東北管内の学校などに送付した。イベント開催案内、関係機関の取組、イベント結果、ウェブサイトの利用方法などを中心に掲載した。編集は、経費節減のため外注せず、職員の手作りとした。そのため、職員は日本広報協会の研修会に参加するなど研鑽に努めた。

## ウ 広報活動の展開

イベント開催の都度、ポスター・チラシを学校、関係機関などに配布した。また、交通広告として、盛岡駅、青山駅、滝沢駅、矢幅駅、東京の渋谷駅、新宿駅、東京駅へ掲示したほか、JR 東北本線、いわて銀河鉄道の車内に中吊り広告を行った。

さらに、ふるさと回帰支援センター及び JOIN(一般社団法人移住・交流推進機構)のウェブサイトを活用(有料)してPRに努めた。

## エ 就活ガイドブックの発行

平成 29 年 3 月新規大卒者等向けに就活ガイドブックを作成し、4 月のいわて就職ガイダンスの参加者全員に配布した。6 月以降に開催する就職面接会への臨み方、求人情報の見方、ウェブサイトの活用方法、イベントスケジュールなど本県の就職活動に直接役立つ内容とするとともに、サイズをポケット版とした。

### (4) 関係機関との連携

27 年度に設立された「いわてで働こう推進協議会」の構成員として県、市町村、商工団体などとの連携に努めた。

当財団主催のイベントに、国、県、市町村、商工団体、ジョブカフェいわてなどが参加し就職相談等を行った。

また、県地域振興室、商工団体等と共に県内大学等を巡回訪問し、就職支援の取組について意見交換を行った(参考資料の表 1)。

## 2 県外からの U・I ターンの促進 (公益目的事業：予算額 5,237 千円)

### (1) U・I ターンフェア(東京都)の開催

東京都でフェアを 2 回開催したところ、参加者数は前年を上回った(下表)。

28 年度から新たな取組みとして、ブース訪問前に企業プレゼンテーションを実施したところ、参加者から一定の評価を得たことから、継続することとしている。

また、フェア終了後、岩手わかすフェス実行委員会と共催で「岩手わかす DAY」を開催し、フェア参加企業、自治体担当者と岩手に関心のある若者等とが自由に意見交換を行った。

#### ▽今年度の開催状況

( )内は前年度の実績

回	事業名	開催日・場所	参加企業	参加者		わかす DAY	
1	U・I ターンフェア I	平成 28 年 9 月 11 日(日) 秋葉原 UDX ギャラリー (東京)	52 (58)	120(76)		33 (-)	
				内訳	ブース訪問		51
					企業プレゼン		55
		適性診断	14				
2	U・I ターンフェア II	平成 29 年 3 月 20 日(月・祝) 秋葉原 UDX ギャラリー (東京)	66 (55)	137(111)		45 (-)	
				内訳	ブース訪問		73
					企業プレゼン		42
		適性診断	22				

## (2) U・I ターン支援対策の充実

U ターン希望者への支援に当たっては、県（U ターンセンター、いわて暮らしサポートセンター）、ハローワーク、市町村のほか、県人会、首都圏の大学等関係機関、団体と連携を図りながら U・I ターンの推進に取り組んだ。

U・I ターン応援企業の登録は、3 月末現在 436 社となっており(前年度 332 社)、平成 26 年度から U・I ターン希望者に対して、これら U・I ターン応援企業の情報をはじめ、県内求人情報、住宅、学校、病院などの情報を提供している。年度後半からは、フォローを強化するため応援企業等に登録者データ一覧(個人情報を除く)を提供したほか、市町村には登録者の了解を得たうえで、具体的な希望条件を提供して相互の意思疎通に努めた。

こうしたことから、これまで、U・I ターンを実現した人は 20 人となり、また、フォロー継続は 132 人、フォロー終了は 58 人となっている(参考資料の表 2、3)。

## 《収益事業》

### 出稼ぎ就労者の援護

出稼ぎ就労者が安全・安心に就労出来るように、出稼ぎ互助会の加入を促進するとともに、PR 冊子を会員等に配布した。

また、万一、事故が発生した場合には、事故見舞金の給付事業を行い、28 年度は 7 件給付した。

#### (1) 傷病等事故見舞金の給付

互助会員が出稼ぎ中に災害若しくは病気で死亡又は休業したときなどに見舞金を給付しているが、今年度は 4 月、6 月、3 月に各 1 件、計 3 件の死亡見舞金を給付したほか、傷病見舞金を 3 件給付した(参考資料の表 4、5)。死亡見舞金の給付件数としては、23 年の 4 件に次いで多かった。

#### (2) 「出稼ぎの葉」の発行

互助会員が健康で安全な出稼ぎができるように、病気や災害防止の心得などを掲載した「出稼ぎの葉」を 9 月に県と共同発行した。

#### (3) 出稼ぎ関係情報の提供

出稼ぎに関する統計や市町村の事業などを掲載した「岩手県における出稼ぎの実態」(別添)を県と共同編集して 8 月に発行し、市町村等に配付した。

#### (4) 「健康で安全な出稼ぎ推進月間」及び「出稼ぎ互助会加入促進月間」

健康で安全な出稼ぎと互助会への加入促進のため、県、労働局と共催で 10 月の出稼ぎ推進月間に合わせて啓発用ポスター、チラシを作成し、市町村等に配布した。

## 《法人運営》

### 法人の運営

#### (1) 法人運営の基本的考え方

##### ア 適切な資産運用

金利情勢は、年度初めから長期金利(10年国債)がマイナス圏で推移したが、年度末には0.6%台をつけた。為替レート(ニュージーランドドル)は、10月にかけて72～76円で推移したが、その後、上昇(円安)に向かい、今年1月、2月は80円台前半、3月末は70円台後半となった。

28年度は、債券の償還はなく、外貨定期預金の書換え(3か月の継続)のみ行った。継続預入に際しては、為替の動向に十分留意してリスク管理に努めた。

資産運用の状況は別添(11ページ)のとおりであるが、債券については、期末(H29.3.31)の長期金利利回りが前期末(H28.3.31)より約0.1%上昇したため債券価格が下落し、基本財産、運用財産とも評価損益がマイナスとなった。

また、外貨定期預金については、前期末より円安となり評価損益はプラスとなったが、額面金額を下回っており、大部分の満期を迎える6月を目途に国内債券にシフトする方向で検討し、元本の保全に万全を期すこととする。

##### イ 計画的、効率的な事業の運営

「いわて県民計画」第3期アクションプラン(平成27年度～平成30年度)に基づく県出資等法人に係る中期経営計画書(昨年3月作成)を当財団のマスタープランとして位置づけ、計画的、効率的な事業運営に取り組んだ。

##### ウ 県との連携

事業の展開に当たっては、県(雇用対策・労働室)の施策の方向と認識を共有するため、随時に連絡、協議の場を持つなど連携を密にしているほか、当財団のイベント運営にも随時協力を得ている。

U・Iターンの促進については、県、市町村、民間団体の推進組織「いわて定住交流促進連絡協議会」と随時連携を図ったほか、県産業振興センター(プロフェッショナル人材戦略拠点)、県ものづくり自動車産業推進室等関係機関と情報共有し、それぞれの取組の支援に努めた(参考資料の表6)。

#### (2) 理事会運営

##### ア 第1回目

平成28年5月20日開催 場所：ホテルエース盛岡

主な議題：平成27年度の事業・決算の承認、定時評議員会の招集決定

##### イ 第2回目

平成28年10月28日開催 場所：ホテルエース盛岡

主な議題：上半期の業務・職務執行状況報告、講演(ジョブカフェいわて)

**ウ 第3回目**

平成29年3月16日開催 場所：エスポワールいわて

主な議題：平成29年度の事業計画・収支予算の承認、下半期の業務・職務執行  
状況報告

**(3) 評議員会運営**

**定時評議員会**

平成28年6月10日開催 場所：ホテルエース盛岡

主な議題：平成27年度の事業・決算の承認、理事、監事、評議員の選任、平成  
28年度事業計画・予算報告

参考資料

図1 ウェブサイトの閲覧数(訪問数)の推移(28年度)

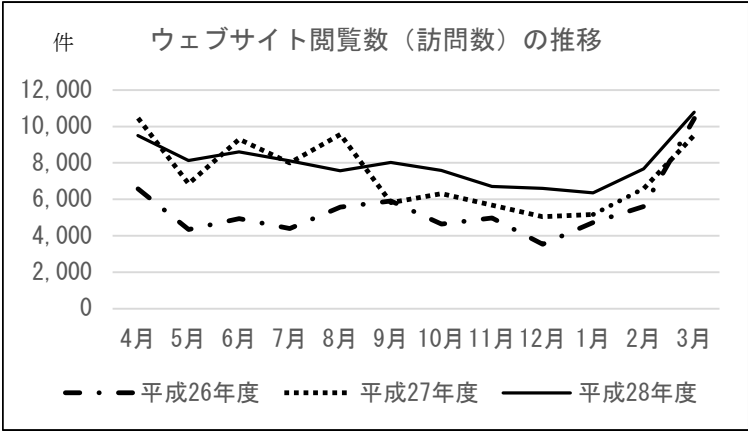


表1 巡回訪問(学校キャラバン)の結果

回	学校名	訪問日	主な意見
1	岩手大学	6月28日	・企業説明会のあり方(学内行事としての取扱い有無、企業による出前説明会の開催など)
2	岩手県立大学	6月29日	
3	岩手医科大学	6月29日	・学生への県内企業の周知活動の方法
4	富士大学	7月6日	・保護者への企業情報提供の要望
5	盛岡大学	7月19日	・県内企業の求人活動開始時期の遅さについて
6	県工業高校校長会	8月29日	・本県と首都圏との就労条件の差
7	龍澤学館	9月1日	・新入社員への企業の研修や指導
8	一関高専	9月15日	・離職率への対応

表2 U・Iターンフォロー希望者数

区分	26年度	27年度	28年度
前年度からの継続者(A)		33	65
フォロー登録者(B)	34	65	91
((B)のうち移住済だがフォロー継続希望者)	0	5	6
移住決定によりフォロー終了者(C)	0	4	5
他理由によりフォロー終了者(D)	1	29	19
フォロー継続者(A)+(B)-(C)-(D)	33	65	132

表3 U・Iターンフォロー希望者の移住市町村内訳

盛岡市	滝沢市	二戸市	花巻市	北上市	一関市	奥州市	久慈市	陸前高田市	不明	合計
2	1	2	2	2	3	2	2	1	3	20

表4 傷病等事故見舞金の給付状況(平成28年4月～3月)

給付の種類	件数	給付金額
死亡見舞金	3	1,500,000円
傷病見舞金	4	140,000円
重度障害見舞金	—	
火災見舞金	—	
治療証明書交付手数料	(2)	4,000円
遺族旅費	(3)	60,000円
賃金立替金	—	
計	7	1,704,000円

表5 傷病等事故見舞金の具体的内容

出身地	性別	年齢	職業	原因	見舞金の種類	支給月
花巻市	男性	75	酒造工	仕事中に体調不良で救急搬送されたが死亡	死亡見舞金	4月
陸前高田市	男性	61	建設業	作業中に突如腹痛に見舞われ受診したところ急性膵炎で入院	傷病見舞金	5月
花巻市	男性	63	酒造工	体調不良により入院、手術をしたが急性心筋梗塞により死亡	死亡見舞金	6月
陸前高田市	男性	71	建設業	現場に向かう途中の追突事故で入院、3か月後に再発した治療	傷病見舞金	11月
八幡平市	男性	62	林業	伐採中に転がってきた石の下敷きになり入院	傷病見舞金	11月
二戸市	男性	77	造作大工	作業中、梯子を下りる際足を滑らせ転落し入院	傷病見舞金	12月
岩手町	男性	71	造林業	間伐作業中に伐採木が折れて激突し救急搬送されたが死亡	死亡見舞金	3月



表6 参加した会合等

回	会合名(場所)	主催	開催日
1	いわてで働こう推進協議会担当者会議(リリオ)	県雇用対策・労働室	4月25日、5月31日、 9月16日、1月24日
2	いわてで働こう推進協議会及び同推進大会(アイーナほか)	同上	6月16日、2月10日
3	盛岡地域雇用対策推進協議会(自治会館)	ハローワーク盛岡	7月25日
4	「高校教師の皆さんと経営者との“共有”懇談会」 (ホテル東日本)	県中小企業家同友会	8月2日
5	いわてU・Iターン支援者勉強会(リリオ)	ジョブカフェいわて	8月8日
6	いわて産学官連携UIJターン戦略会議(マリオス)	県中小企業団体中央会	8月26日
7	「花巻における就職に関する意見交換会」(ホテル グランシエール花巻)	花巻商工会議所青年部	9月28日
8	プロフェッショナル人材拠点セミナー(県工業技術センター)	県産業振興センター	11月11日
9	地方創生インターンシップワーキンググループ (エスポワールいわて)	いわてで働こう推進協議会	11月24日、1月12日
10	経営研究集会(ホテル東日本)	県中小企業同友会	11月25日
11	U・Iターン就職支援担当者会議・情報交換会(県庁等)	岩手県、ジョブカフェいわて	12月22日
12	「ふるさと振興～住民協働による地域づくり」(ホテル東日本)	地域総合整備財団、岩手県	1月23日
13	いわて定住・交流推進連絡協議会意見交換会(岩手県公会堂)	県地域振興室	2月16日
14	東北インターンシップ推進コミュニティ地域会議	岩手県立大学学生支援室	3月24日